

千葉地本排除=破壊策動

それは革マルによる全面的な動労私物化と暴力支配への道だ!!

昨年夏召开全国大会(津山市)において一部反動分子は、わが代表団にたいして、ひきづり倒し、ふみつけ、首をしめあげる暴力をふるった。また、一二四名の共同修正案提出者にたいする名ざしの相かつきくわえた。

このことは、過去十年間に及ぶ教の暴力的敵対に屈せざるに追いつてきたわが千葉地本の闘いに追いつめられ、あせりだした結果であり、同時にこれら反動的正体を四万七千のまえにあきらかにしてしまっただけである。

動労内一部反動分子はこのあまりにもはつきりした暴力を「暴力はなかった」とウソをついてこのりきろうとした。

しかし動労四万七千組合員はこの暴力をゆるすだろうか。

千葉地本を先頭にして五地本(秋田、仙台、水戸、米子、鹿児島)から大会暴力強迫のへ申し入れ書が出され、とうとう暴力の事実を認めざるをえなくなった。

このような各地本からの弾劾要求にたいして「この様な事柄が発生するのはそれなりの歴史的背景がある」「皆景山や理由山があれば暴力が発生してもやむを得ない」と、つまり自己のほしのままの組合をつくるためには、これからもどしどし暴力行為をくりかえしていくといいはなっているのだ。

一部反動分子の暴力を組合の名のもとに強行するなどということをもとにしてゆるせようか。組合員が「自分の意見をいう」という絶対的な権利を暴力でもって圧殺するということをごとうして認めることができようか。

一〇年来の暴力の居直り

問題の核心は何か
討論シリーズ NO.1

日刊 **動労千葉**

'79.1.25
 No. 16

動労暴力支配をゆるすな

このような一部反動分子の動労四万七千にたいする数々の暴力的敵対の根拠は、かれらの方針があまりにも反動的、不正義であるが故に、暴力でもって強行せざるをえないところにあるのだ。権力をまったく同じではないか。

三里塚敵対、貨物合理化全面屈服、貨物安定宣言、水本運動と、動労の即う組合の伝統を暴力でもって破壊することのみに血まなこになってきたのが一部反動分子ではないか。

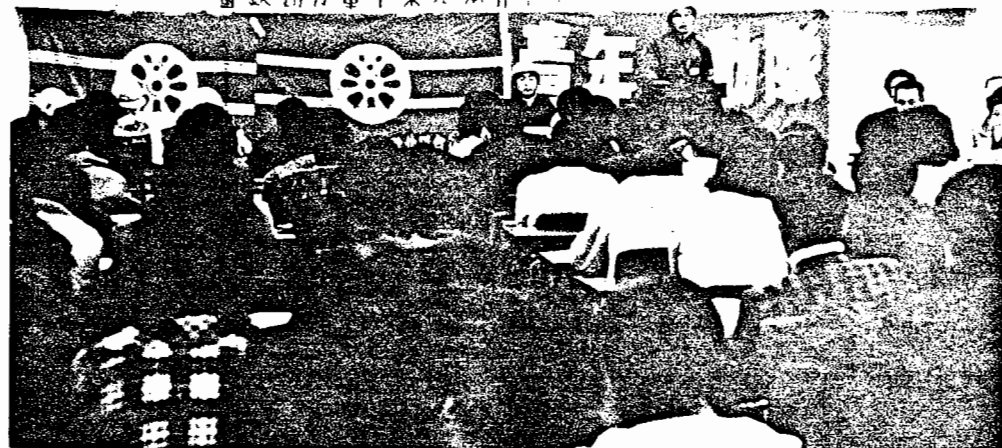
わが千葉地本はこのような一部反動分子の動労破壊と叩いぬいてきた故にいま統制処分、組織破壊攻撃をわが千葉地本にかけさせているのだ。それがあまりにも不正義であるが故に暴力でもって強行せんとしているのだ。

叩いはいよいよ正念場に来た。

1・27全支部青年行隊総決起集会(14時・於津田沼留車区)の成功をもって一部反動分子の暴力的組織破壊攻撃を粉碎しよう。

いざ決戦に突入しよう!

地本防衛青年行動隊総決起集会



1.27地本全支部青年行隊総決起集会の
 大成功がちとれ
 1月27日(土)14時 津田沼留車区

国鉄動力車労働組合
 千葉地方本部
 千葉市要町二一八(動力車会館)
 (鉄電)二二五八〇九(公衆)四三三二七二〇七